UltimaⅣ マニュアルガイド

立ち上げ

- ① 送水バルブ全開
- ② 送水装置 ON
- ③ PC 起動 (ログイン画面で待つ)
- ④ 本体(UltimaⅣ)を ON にする(左下の"operate"点滅→点灯まで待つ)
- ⑤ PC ログオン (パスワードは、ありません)
- ⑥ 理学サーバーが"青"になるまで待つ



⑦ 「XG 操作」アイコンをダブルクリック

💐 XG 操作 RINT2200 ターケット:C	u 🔀
ファイル(E) 表示(V) オブション(Q) ヘルプ(Ŀ	þ
•••••	
	- ジャッター開閉
管電圧、管電流の設定	
▲ 👔 🖉 🖉 🖉 🖉	40
	U 50
Set E €//L · ▼ mA	40
	1.60
	0 2.00
現在、エージングを実行中です。	2009/05/29 10:29

⑧ 「X線制御」のアイコンの信号が青になっていることを確認

-650

- ⑨ 「エージング 」 アイコンをクリックし、アイコンが暗くなるまで待つ (40~50 分)
 - *管電圧:40 kV 管電流:40 mA になるよう設定しています

SAXS 測定

測定の設定

- ① 「理学コントロールパネル」アイコンをダブルクリック
- ② 「RINT2200 右システム」アイコンをダブルクリック
- ③ 以下の設定になっているかを確認する

門 RINT2200右システムのプロパティ	? 🛛
システムの構成 X線のタイプ 光学系	
ንአታሬ名 : RI	NT2200右システム
ם*בלא-ק Ultima IV (ADS) *	インジテドントモノクロ CB0 *
- アタッテメント 回転試料台(前後軸付き) *	지가 지가 지하는 지 않는 것이다. 지 지 하는 지 하는 지 하는 것이다. 10 이가 한 것이다.
7/1k/	
検出器 ジンチレーションカウンタ マ フ [*] ロハ*ティ	
	ОК + +>tell

- ④ 「マニュアル測定」アイコンをダブルクリック
- ⑤ 「をクリック(初期化されるのを待つ)
- ⑥ 装置本体にサンプルをセットする(キャピラリー)
- ⑦ 検出器にアブソーバーを入れる
- ⑧ 「アタッチメント制御」 をクリック
- ⑨ 制御対象を[θ χ]、制御を[初期化]を選択し、[実行]ボタンをクリック
- ① 「マニュアル測定右システム」で、制御対象を[20/0]、制御を[移動]を選択し、[実行]ボ タンをクリック
- 「アタッチメント制御」で、制御対象を[θ χ]、制御を[測定]を選択し、[実行]ボタンを クリック

12 マニュアル測定画面(下図)で、右上にある + をクリックし、下図のように得られたスペ

クトルヘアイコンを移動し、値を読み取る



⑬ 「マニュアル測定右システム」の[表示]で[セッティング結果の表示]をクリック

⑭ [θ χ]の値に、⑫で読み取った値を入れ[OK]をクリック

測定(SAXS)

- ブランクのサンプルをセッティング後、検出器からアブソーバーを抜き、「標準測定」
 のアイコンをダブルクリック
- ② 終了処理にチェックを入れ、XG 終了条件を[現状維持]にする
- ③ 使用を〇にし、参照をクリックし、データの保存先とサンプル名を入力

		準測	定 [右]							×
	7711	(E)	編集	(E) 表示(V) 処理(P)	ヘルプ(円)						
					\backslash						
「測定実行」	ፖኴッቻሃ	补名	: 🗆	転試料台(前後軸付き)							
	終了如	哩	:	▼ 位置初期化 ×	G終了条件:JB	1状維持	•				
	昆		₽•						\frown		
	No.	使用	ED刷	Jallyi名	ファイル名		サンフ*ル名	アタッチメン	測定条件	次処理	
	1	0	×	C:¥Windmax¥DATA¥	Test.raw	参照	TEST SAMPLE			連続	
						参照			$\overline{}$	連続	
						参照		1		連続	
						参照					
						· 梦照		_		况把航。。。 注意经生	
		<u> </u>				<u>多照</u>)) 油结	
						参昭				·	
						参照				連続	
						参照				連続	-
								•	20	09/05/28	

- ④ 測定条件番号を入力し、ダブルクリック
- ⑤ 使用を〇にし、各測定条件を設定

🔐 標準測定 [右]				
ファイル(E) 編集(E) ヘルプ	Ð			
	5			
No. No.2 No.3	No.4 No.5 No.	6 No.7 N	o.8 ∫No.9 ∫No.	10 >>
走査軸: 20/0 💌] 測定方法 : 連 約	売 👤 計	·数単位: cps	▼ 詳細 >>
	H			
No. 使用 コメン	、 開始角度	終了角度 九	フプリング幅スキャンスピート	電圧 電流
1 0	3.0000	90.0000 0.	.0200 2.0000	40 💌 20 💌
				_
				V V
<u> </u>				•
				10:51

- ⑥ 測定実行」のアイコンをクリック(測定開始)
- ⑦ 測定ウィンドウが消えるまで待ち、測定終了
- ⑧ ブランクサンプルを抜き、サンプルをセットし、同様の操作を行い測定する

測定(XRD)

- ① 「理学コントロールパネル」アイコンをダブルクリック
- ② 「RINT2200 右システム」アイコンをダブルクリック
- ③ アタッチメントが[標準]、検出器が[シンチレーションカウンタ](高速検出器を用いている場合は、[高速検出器])、スリットが[集中法]になっていることを確認
- ④ サンプルをセットし、上述の測定(SAXS)と同様に測定

データをテキストファイルに変換

① 「アスキー変換」のアイコンをダブルクリック

🔜 バイナリー→ASCII変換
ファイル(£) ヘルプ(H)
変換実行 終了
ファイル設定
変換形式 汎用アスキー形式 💌
入力ファイル名 フォルダ: C:¥Documents
and Settings¥Administrator¥デスクトップ¥demo¥2.raw
出力ファイル名 フォルジ: C:¥Documents
TXT Settings¥Administrator¥デスクトップ¥demo¥2.TXT
改行文字 Windows/DOS形式 (<cr+lf>) ▼</cr+lf>
区切り文字 タ ブ (**** <tab> ***) <u>▼</u></tab>
分割データ 縦一列出力 ▼
セパレータ なし 💌
変換内容
▼装置情報(ゴニオ,アタッチチント,モノウロ)
▼ ファイル情報(サンプル,コメント、ファイル)
▼測定条件(走査軸,走査モード,スリット,kV,mA,開始,終了,ステップ角度)
▼ フロファイルナーダ(20月度、強度) 強度形式: 目動 ▼

- ② 変換形式を[汎用アスキー形式]にする
- ③ 「入力ファイル名」をクリックし、ファイルを選択 (ドラックでも可)
- ④ 任意の変換内容にチェック
- ⑤ 変換実行をクリック

終了動作

- ① 「XG 操作」のウィンドウ内の「X 線の off _____」をクリック
- ② 冷却水が止まるまで待つ(約3分)
- ③ 送水装置 off
- ④ 本体(UltimaⅣ)を off
- ⑤ 送水バルブを閉める
- PCの電源を切る